

概要版

第3期札幌市市民まちづくり活動促進基本計画

(案)



「札幌市市民まちづくり活動促進基本計画」とは？

計画の目的

「札幌市市民まちづくり活動促進基本計画」は、札幌市が、「市民まちづくり活動」を促進する取組を総合的・計画的に進めるための計画で、「札幌市市民まちづくり活動促進条例」に基づき策定しています。

【目的】

市民、事業者及び市が連携・協力してまちづくりを担い豊かで活力ある地域社会の発展に寄与すること
(市民まちづくり活動促進条例第1条)

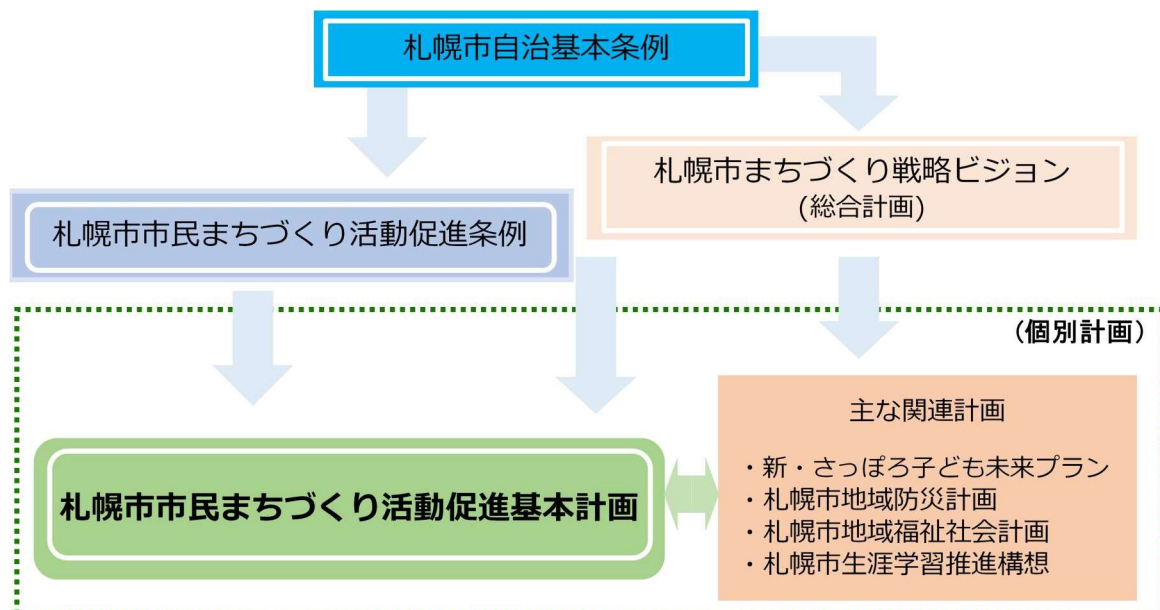
【根拠】

市長は、市民まちづくり活動の促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、市民まちづくり活動の促進に関する基本計画を策定しなければならない
(市民まちづくり活動促進条例第7条)



計画の位置付け

この計画は、まちづくりの総合計画として最上位にある「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の個別計画に位置づけられます。また、札幌市の市民まちづくり活動の促進を総合的に進める計画で、対象分野は幅広く、各分野における関連計画との整合性を図っています。



計画期間

平成31(2019)年度から5年間の計画です。

市民まちづくり活動 ってどんなこと？

みんなが支え合いながら、暮らしていけるまち。
そんなまちにしていくために、市民一人ひとりができること。
それが「市民まちづくり活動」です！

市民まちづくり活動 (暮らしやすいまちを実現する活動)

企業・商店街

町内会・自治会

ボランティアグループ

主役は市民一人ひとり！

老人クラブ・サークル



福祉



子育て



節電



寄付・募金



ゴミ減量・分別・リサイクル

個人・家庭

学校・PTA



企業
ボランティア



防災



にぎわいづくり
お祭りへの参加



高齢者の健康づくり



文化・芸術活動



緑化・花植え



除雪・雪マナー



あいさつ・声かけ・見守り



ゴミ拾い

市民の力が集まると、
まちはもっと素敵になります！



お祭り



花植え



ゴミ拾い

これまでの取組

札幌市では、平成 26（2014）年度に第 2 期基本計画をつくり、4 つの基本目標のもとでさまざまな取組を進めてきました。

基本目標 1 『参加』～より多くの市民のまちづくり活動への理解と参加の促進

<取組>

まちづくり活動の取組に関する幅広い情報発信や、さぼーとほっと基金による寄付、イベントの開催などまちづくり活動への参加に向けた取組を行いました。

<振り返り>

市民まちづくり活動への参加割合が8割を超えている一方で、幅広い活動への参加を促進する必要があります。

<成果指標>

市民まちづくり活動に参加したことのある人の割合(%)：H25 年度 32.4→H29 年度 83.1【H30 年度目標 70.0】

町内会加入率(%)：H25 年度 71.7→H30 年度 70.3 【H30 年度目標 74.0】

さぼーとほっと基金寄付件数(件)：H25 年度 331→H29 年度 252 【H30 年度目標 360】

さぼーとほっと基金寄付金額(累計/円)：H25 年度 5.0 億→H29 年度 8.7 億 【H30 年度目標 7.4 億】

基本目標 2 『向上』～団体の運営基盤の強化と社会課題の解決能力の向上

<取組>

市民まちづくり活動団体に対する拠点施設において、運営相談や情報提供等を行いました。また、まちづくり団体の運営基盤を強化する取組、人材育成に関する研修やセミナーなどの取組を行いました。

<振り返り>

団体数や寄付件数が増加している一方で、団体の運営基盤に関する課題がみられます。

<成果指標>

市民活動サポートセンター登録団体数(団体)：H25 年度 2,280→H29 年度 2,764 【H30 年度目標 2,500】

認証 NPO 法人数(団体)：H25 年度 887→H29 年度 947 【H30 年度目標 1,100】

さぼーとほっと基金団体指定寄付件数(件)：H25 年度 144→H29 年度 141 【H30 年度目標 150】

認定／特例認定／条例個別指定 NPO 法人数(団体)：H25 年度 11→H29 年度 19 【H30 年度目標 30】

基本目標 3 『交流』～身近な地域における場と交流機会の創出

<取組>

地域交流活動の促進に向けた支援や、既存の活動場所の改修や新たな場の整備に向けた支援などを行いました。また、地域課題の解決に役立つ情報提供やアドバイザー派遣などの取組を行いました。

<振り返り>

支援が着実に進む中、身近な交流機会や活動場所、情報提供が一層必要とされています。

<成果指標>

身近に交流の機会があると感じている人の割合(%)：H25 年度 31.8→H30 年度 41.2 【30 年度目標 40.0】

整備・創出された地域活動の場の整備数(累計/件)：H25 年度 20→H29 年度 81 【H30 年度目標 100】

まちづくりセンターを核とした地域活動数(累計/件)：H25 年度 1,006→H29 年度 1,210【H30 年度目標 1,060】

基本目標 4 『連携』～多様な活動主体間の連携の促進

<取組>

団体間のネットワーク化に向けた支援を行ったほか、企業の社会貢献活動の促進に向けた取組を行いました。また、団体の連携機会の創出やコーディネートする人材の育成などを行いました。

<振り返り>

市と企業との連携は着実に進んでおり、団体は多様な団体との連携を望んでいます。

<成果指標>

連携している市民まちづくり活動団体割合(%)：H25 年度 59.6→H30 年度 48.7 【30 年度目標 70.0】

市と協定を締結している企業数(件)：H25 年度 341→H29 年度 917 【H30 年度目標 400】

異種団体と連携している割合(%)：H25 年度 33.1→H30 年度 42.6 【H30 年度目標 40.0】

これからの方向性

第2期計画の振り返りからわかったこと

【基本目標1】より多くの市民のまちづくり活動への理解と参加の促進

市民まちづくり活動の必要性を理解してもらうための取組や、参加を促進するためのより適切な情報発信、地域コミュニティ活動の活性化に向けた取組が必要です。

【基本目標2】団体の運営基盤の強化と社会課題の解決能力の向上

市民まちづくり活動団体に対する拠点施設を中心とした支援を継続するとともに、人材育成、活動資金、活動場所など、ニーズが高い分野において市民まちづくり活動団体の運営体制強化に向けた支援が必要です。

【基本目標3】身近な地域における場と交流機会の創出

地域交流活動を引き続き促進するとともに、地域活動の場を整備・創出するほか、既存の活動の場の活用促進に向けた効果的な情報発信が必要です。また、まちづくりセンターにおける地域活動への支援が引き続き必要です。

【基本目標4】多様な活動主体間の連携の促進

団体間の連携のきっかけとなる機会の創出、団体の連携を促進するコーディネートやコミュニケーション能力を持った人材の育成が必要です。また、企業の社会貢献活動を引き続き促進することが必要です。

第3期計画へ

札幌市まちづくり戦略ビジョン

戦略的に取り組むべきテーマ 『暮らし・コミュニティ』

今後の社会情勢

- 高齢化の急速な進行
- 社会的孤立の顕在化
- 複雑・多様化する地域課題

取組の方向性

- 地域コミュニティの形成
- 地域のまちづくり活動の担い手育成
- 活動主体同士の連携による地域資源の創出・活用



これまでの取組状況や札幌市を取り巻く環境などを踏まえて、第3期計画を策定するんだね。

市民みんなが、まちづくり活動を理解していくことが必要ね。



第3期札幌市市民まちづくり活動促進基本計画

【目的】 豊かで活力ある地域社会の発展のために

基本
目標

1 『参加促進』 市民まちづくり活動に対する理解と幅広い分野への参加の促進

●幅広い市民まちづくり活動への参加を促進します

- ・メールマガジン、HP、SNSなどを活用した市民まちづくり活動の情報発信
- ・さぽーとほっと基金におけるクリック募金の整備や寄付つき商品の拡充
- ・NPOや任意団体などが行う市民まちづくり活動の体験講座 など



さぽーとほっと基金



市民へ市民まちづくり活動を紹介
(市民活動サポートセンター)

●地域コミュニティ活動の活性化に向けた支援を行います

- ・ワークショップ等を通じた地区防災計画の作成
- ・各種媒体（CM・SNS・リーフレットなど）による町内会の広報活動 など



町内会活動活性化に向けた意見交換会



リーフレットによる広報

成果指標

市民まちづくり活動に参加している人の割合

95.0% (2023年度) ※2017年度 83.1%

町内会の加入率

71.00% (2023年度) ※2018年度 70.26%

様々な年齢やライフスタイルなどを考えながら、より多くの市民の皆さんが、まちづくり活動に参加できるよう取組を進めます。



2 『運営体制強化』 市民まちづくり活動の運営体制の強化や活動に対する支援

- 団体に対する拠点施設での支援を行います
 - ・市民活動サポートセンターによる活動団体に対する相談業務など各種支援
 - ・まちづくりセンターによる地域の課題解決やコミュニティ活性化に向けた支援 など
- 団体の組織力強化に資する人材を育成します
 - ・地域の多様な課題の解決を促進するための人材育成
 - ・世代に応じた体験・研修の実施 など
- 団体の活動資金の調達のための支援を行います
 - ・さぽーとほっと基金、地域福祉振興助成金などによる団体への事業支援
 - ・会計や資金調達などの研修の実施、各種助成金の情報提供 など
- 団体の活動の場の確保に向けた支援を行います
 - ・市民集会施設の新築・改築・借上げなどに対する補助や融資のあっせん
 - ・地域の遊休スペースなどを新たな活動の場とするための体制づくりと、活動に必要な整備・改修の支援 など

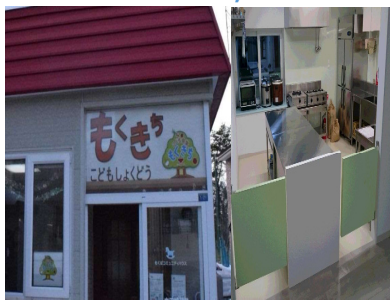


成果指標

まちづくり活動情報サポートサイトへの登録団体数 **3,000 団体** (2023 年度) ※2017 年度 2,758 団体



市民活動サポートセンターによる活動団体に対する相談業務



空き家をコミュニティハウスへ改修

活動に必要な人材、資金、活動場所などについて、一層の支援を行います。

3 『連携促進』 市民まちづくり活動団体間の連携の促進

- 多様な市民まちづくり活動団体間の連携に向けた支援を行います
 - ・NPOと町内会とのマッチング支援
 - ・団体間の交流サロンの開催
 - ・商店街と町内会、NPO、大学等による地域課題解決に向けた連携 など
- 企業の社会貢献活動を促進します
 - ・さっぽろまちづくりパートナー協定、市民まちづくり活動を行う企業への認証制度 など



企業・大学の連携による除雪ボランティア



成果指標

連携している市民まちづくり活動団体の割合 **70.0 %** (2023 年度) ※2018 年度 48.7%

企業のまちづくり活動への参加数 (のべ) **20,700 社** (2023 年度) ※2017 年度 14,088 社

成果指標

基本目標 1 参加促進 ～市民まちづくり活動に対する理解と幅広い分野への参加促進

把握事項	指標	2017/2018 年度実績	2023 年度 目標	設定理由
参加状況	市民まちづくり活動に参加している人の割合	83.1% (2017 年度)	95.0%	市民の市民まちづくり活動への参加状況を示す数値であるため
町内会 加入状況	町内会の加入率	70.26% (2018 年度)	71.00%	地域コミュニティ活動の中核的な団体である町内会の加入状況は、地域コミュニティ活動の活性化を示す数値であるため

基本目標 2 運営体制強化 ～市民まちづくり活動団体の運営体制の強化や活動に対する支援

把握事項	指標	2017 年度 実績	2023 年度 目標	設定理由
団体 登録数	まちづくり活動情報サポートサイトへの登録団体数	2,758 団体	3,000 団体	①市民活動サポートセンター登録団体、②さぼーとほっと基金登録団体、③認証しているNPO法人数を統合したまちづくり活動情報サポートサイトの登録団体数を把握することで、団体への人材育成や財務面における支援などの総合的な結果として運営体制の強化がなされたことを示す数値であるため

基本目標 3 連携促進 ～市民まちづくり活動団体間の連携の促進

把握事項	指標	2017/2018 年度実績	2023 年度 目標	設定理由
連携 団体数	連携している市民まちづくり活動団体の割合	48.7% (2018 年度)	70.0%	市民まちづくり活動団体の連携状況を示す数値であるため
企業参加 活動数	企業のまちづくり活動への参加数（のべ）	14,088 社 (2017 年度)	20,700 社	企業のまちづくり活動への参加状況を示す数値であるため

